

〈 競 技 注 意 事 項 〉

- 1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項によって実施する。
なお、チャレンジアスリート記録会は障がい者スポーツ大会競技規則により実施する。
- 2 選手は必ず、招集所(100mスタート側倉庫)でコールを済ませた後、招集所で待機すること。
コールに遅れた者は棄権とみなし、競技に出場できない。
(1) 招集開始時刻…競技開始 30 分前 招集完了時刻…競技開始 15 分前
(2) 混成競技においては、2種目以降(ジャベリックボール投、走幅跳)は、競技開始 30 分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。

3 競技方法

- (1) スパイクシューズのピンは9mm以下を使用すること。
- (2) スタートについて
 - ① かけっこの部・混成競技の部のスタートの合図はイングリッシュコールとし、同一人が2回不正スタートをした場合に失格とする。
 - ② かけっこの部のスタート方法はスタンディングスタートとする。スタンディングスタートの形については特に規定しないが、スタートラインに立った状態から、「セット」で静止できればよいものとする。スターティングブロックは使用しない。
 - ③ チャレンジの部・混成競技の部のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、クラウチングスタートに慣れていない選手はスタンディングスタートも認める。また、スターティングブロックを使用しなくてもよい。
- (3) 混成競技の部の80mハードルは次の規定で行う。

スタートから 第1ハードル	高 さ	インターバル	台 数	最終ハードル からゴール
13m	60cm	7m	9台	11m

- (4) 混成競技の部のジャベリックボール投は、主催者が用意したジャベリックボールを使用する。競技は、やり投ピットを使用し助走距離は15m以内とする。
- (5) 混成競技の部の走幅跳とジャベリックボール投は3回の試技とする。
- (6) 混成競技の部の種目は下記の順で実施する。
男子 ①80mハードル ②ジャベリックボール投 ③走幅跳
女子 ①80mハードル ②走幅跳 ③ジャベリックボール投
- (7) チャレンジの部の走幅跳、砲丸投、ジャベリックスローは6回試技とする。
- (8) ① 4×50mリレー及び4×100mリレーは、リレーオーダー用紙を招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に用意する。出場するメンバーのうち、少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。選手に何組・何走を走るのかをしっかりと覚えさせておくこと。
② 4×50mリレーは、第3コーナーの200mスタート地点からスタートし、テイクオーバーゾーンは使用しない。2、3、4走者の待機位置は、次の通りとする。
2走：スタートから50m地点 3走：スタートから100m地点
4走：スタートから150m地点

4 その他

- (1) 選手は全員ナンバーカードを各クラブにて作成(番号は登録ナンバー)し、胸背部に必ずつけること。
- (2) かけっこの部は各種目6位までの入賞者に賞状及び全員に記録証、混成競技の部は優勝者に賞状と記念品、6位までの入賞者に賞状がある。表彰式を行うので、6位までの入賞者は会場で待機しておくこと。記録証は、全競技日程終了後に表彰係まで取りに来ること。

ゴミの持ち帰りの徹底を各クラブにてお願いいたします。